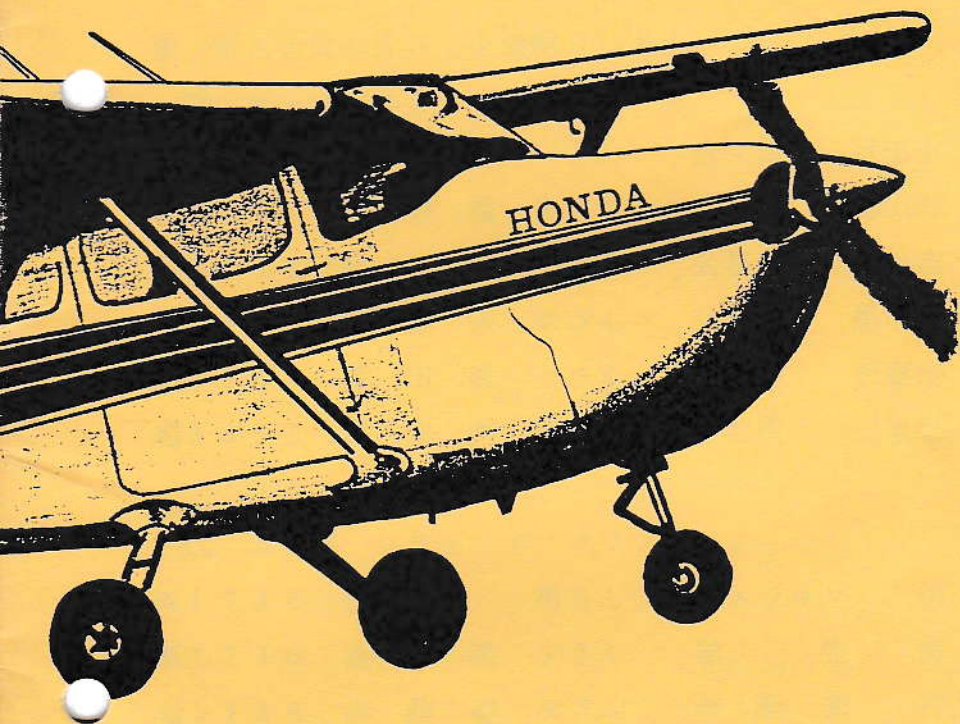


# CLUB

DAYORI



NO 78

## 安 全 目 標

これからは積乱雲の発生しやすい季節になります。

Weatherの確認は充分に行ないましょう。

又、無理な飛行はやめましょう。

● 新入会員の皆さんを御紹介します。

◎ ホンダ フライイング スクール

No.5350	前 沢 彰 一さん	会社員	行田市	26才
No.5351	田 中 規 夫さん		鳩山町	57才
No.5352	林 和 夫さん	公務員	越谷市	28才
No.5353	佐 藤 鉄三郎さん	会社員	品川区	49才
No.5354	澤 田 直 子さん	学 生	新座市	17才
No.5355	沼 津 秀 幸さん	会社員	三重県	37才

◎ ホンダ フライイング クラブ

No.1735	牧 野 靖さん	カメラマン	柏 市	25才
No.1736	善 方 菊 夫さん	学 生	横 浜 市	22才
No.1738	加 藤 春 次さん	金 融 業	神奈川県	36才
No.1739	前 田 修 一さん	会 社 員	成 田 市	34才
No.1741	畠 山 敏 夫さん	〃	北 区	39才

※ 次の方は練習許可書の更新の準備をしましょう。

(6月中に期限の切れる方)

中田信一さん(6/3)	石井通孝さん(6/3)	名倉彰男さん(6/5)
小島正資さん(6/11)	瀬沼 勝さん(6/11)	鎌田金義さん(6/11)
山口光男さん(6/11)	石田良達さん(6/11)	成島郁雄さん(6/13)

宮田耕一さん(6/20) 小林謙二さん(6/20) 宮本篤さん(6/27)  
塩野文男さん(6/27)

(7月中に期限の切れる方)

四方哲朗さん(7/7) 石塚信行さん(7/1) 南行彦さん(7/9)  
高橋久一さん(7/9) 小丸幸喜さん(7/14)

◎ 申請に必要なもの

住民票.....1通  
練習許可申請書.....1通  
写真(インスタントは不可) 3.5 cm×4.5 cm.....2枚  
印鑑(ジャチハタネームは不可)  
申請諸費用.....1,500円

更新の場合、期限の切れる2週間前までに手続きをとって下さい。本田航空へ2週間前までに必着のこと。

注：練習許可書の身体検査も航空身体検査指定医で受診して下さい。都内は下記の3ヶ所です。

宮入内科(有楽町交通会館)	03-211-4845
健康管理センター(浜松町貿易センタービル)	03-435-5702
国際空港診療所(羽田空港出発ロビー)	03-747-7755

● ファースト ソロ フライト おめでとうございます。

宮園 久良さん	JA3814	4/6
大島 繁樹さん	JA3814	5/2
河野 孝政さん	JA3558	5/15

● 実地試験合格おめでとうございます

田野倉 隆さん	JA5170	3/26	多発限定
---------	--------	------	------

◎ 航空従事者学科試験

8月期航空従事者学科試験及び申請締切が下記の通りとなりました。

申請日 昭和61年5月22日～昭和61年6月18日

(本田航空締切 昭和61年6月15日(日))

試験日 昭和61年8月30(土)・31(日)

申請に必要なもの

申請書類 ..... クラブルームに用意してあります

印鑑

写真 4cm×5cm ..... 1枚

住所及び本籍を記入したもの

(郵便番号、TEL、連絡先を忘れずに)

申請手数料 ..... 5,500円

◎ 竜ヶ崎の中央航空クラブとホンダフライングクラブとの対抗飛行競技大会が5月25日行なわれました。結果は次のようになっております。

優勝 大江和生さん 山崎芳明さん(ホンダ)

準優勝 田口吉郎さん 大河内さん(ホンダ)

3位 山中さん 松永さん(新中央)

4位 荒井賢二さん 汐先さん(ホンダ)

3位は同点で180°スポットによる決勝を行なった結果、残念ながら荒井さん、汐先さんは4位となってしまいました。

又、総得点では、わずかの差ながら中央航空クラブが上回っていました。

◎ 5月1日よりチェックリストの内容で変更がありましたので御連絡いたします。

1. 外部点検で今まではE-5番目でプロペラの手廻しがありましたが、これは今回から手廻しはやらないことにしました。

〔例外 ライセンサーの方で早朝等に最初のフライトを行なう場合であって、整備士がランナップを行なっていない時はプロペラ手廻しを実施して下さい。〕

2. RビーコンのONの時機を今までより手前で行なうことにしました。

### 2 エンジン始動

(従来)

10. トランスポンダ……スタンバイ(S/B)
11. エンジン計器…チェック
12. Rビーコン……オン
13. フラップ………チェック
14. DG………セット

(変更後)

1. アウトサイド ……クリアー
2. マスタースイッチ…ON
3. Rビーコン………オン
4. "スタート" ……手信号

これにより、Rビーコンが点燈したならばエンジンが始動されるという合図に使うようになります。

◎チェックリストのプロシジャ-は次の要領ですのでもう一度確認して下さい。

## BEFORE START ENGINE

1. Parking Brake ..... SET  
パーキングブレーキをセットする。
2. Seat belts ..... ADJUST & LOCKED  
操縦しやすい位置に調整してロックする。
3. Cabin Door ..... LOCKED  
客室ドアを閉じてロックする。
4. Flight Control ..... CHECKED  
エルロン、エレベータ、(ラダー)、の作動及び機構(ひっかかりなく自由に動くか)を確認する。
5. Trim ..... CHECKED  
エレベータトリムの作動を点検し、離陸位置にセットする。
6. Fuel Selector ..... BOTH  
燃料セレクターを BOTH の位置にセットする。
7. All Instrument ..... CHECK & SET  
時計、高度計のセット、エンジン計器、姿勢儀、速度計、昇降計等の外部的形状及び指針を確認する。
8. All Switch ..... OFF  
前面パネルのスイッチ類、ラジオ、DME、ADF、トランスポンダー等のスイッチ類がオフになっている事を確認する。
9. Circuit Breakers ..... ALL IN  
前面下部のサーキットブレーカーがすべて入っている事を確認する。
10. Mixture ..... RICH  
ミクスチャーを前方一杯リッチにする。
11. Carbu heat ..... COLD  
キャブヒートノブをコールド位置を確認する。
12. Primer ..... LOCKED(As Required)  
2~6ストローク内で適時使用し、ロックを確認する。(エンジンが暖まっている時は使用しない)
13. Throttle ..... SLIGHTLY OPEN  
エンジンの始動しやすい回転の位置にセットする。(エンジン始動時に約 1000 回転)

## START ENGINE

1. Outside Obstructions ..... CLEAR  
前後左右の安全を確認する。
- ※ CALL & SIGN "Master Switch ON"
2. Master Switch ..... ON  
ファイヤーガードの応答を確認後、マスタースイッチをオンとする。
3. Beacon Light ..... ON  
ビーコンライトをオンとする。
- ※ CALL & SIGN "Start"
4. Ignition Switch ..... START, THEN BOTH  
イグニッションスイッチをゆっくり、R. L. BOTH. よりスターターまで回す。エンジンが始動したら力をぬいて BOTH の位置に戻す。
5. Oilpressure ..... CHECK  
油圧計を点検し、上昇を確認する。(夏期は約30秒 冬期は約1分)もし油圧が上昇しない時は下記の手順によりエンジンを停止する。  
①Mixture ..... CUT OFF    ②Throttle ..... CLOSE    ③Ignition Switch ..... OFF

## AFTER START ENGINE

1. Avionics Power Switch …… ON  
アビオニクス・パワースイッチをオンとする。
2. Radio, VOR, DME, ADF …… ON  
VHF ラジオ、VOR, DME, ADF の各周波数、音量等をセットする。
3. Transponder …… ON  
トランスポンダーを、スコークにセットし STBY の位置にする。
4. Instrument …… SET & CHECK  
エンジン計器の点検、D / G, ホライゾンのセット、高度計の確認をする。
5. Flap …… CHECK  
後方を確認し、フラップを順次降ろして、作動を確認する。

## TAXI

(メモリーのみにて実施する。)

1. Throttle …… IDLE  
パワーをアイドルとする。
2. Chocks …… OUT  
車輪止めのはずれていることを確認する。
3. Brakes …… CHECK  
2～3m 動いたところで、パワーをアイドルとして、ブレーキの作動点検を行う。
4. Flight Instrument …… CHECK  
必要に応じて、旋回時に G/H, D/G, マグネチックコンパス, ターン&スリップ計, ADF 等を確認する。
5. Take-off Briefing …… COMPLETED  
タクシー中に、テイクオフブリーフィングを行う。

## BEFORE TAKE-OFF

1. Parking Brake …… SET  
パーキング・ブレーキをセットし、スロットルを 1000 回転にする。
2. Engine Instruments …… CHECK  
エンジンの暖気が終了していることを、油温計にて確認する、油圧計も点検する。
- ※ CALL “Outside Clear”
3. Magnetos Check …… CHECK  
スロットルを 1700 回転にセットし、エンジン計器を点検後、イグニッション・スイッチを “R” の位置にし回転の低下を確認後、“BOTH” に戻す。回転数が元に戻ることを確認し、今度は “L” の位置とし、回転の低下を確認し “BOTH” に戻す、そして再度回転数が元に戻ることを確認する。(回転低下は各マグネットで、最大 125 回転、左右差は 50 回転以内でなければならない。)
4. Carbu heat …… CHECK  
スロットルを 1700 回転のまま、キャブヒートをホットとし、回転の低下及び気化器温度計の上昇を確認後、コールドとする。
5. Mixture …… CHECK  
スロットルを 800 回転とし、ミクスチャーをゆっくり絞り、エンジンの停止する兆候を確認しリッチに戻す。
6. Ignition Ground Earth …… CHECK  
スロットルをアイドルとし、一次線の短絡を確認する。
7. Acceleration & deceleration …… CHECK  
スロットルをアイドルより 2000 回転まで加速し、その後再びアイドルまで減速する。この間エンジン計器の点検、スロットルの動きに応じたスムーズな加速・減速及び異音等を点検する。
8. Recheck  
スロットルを 1000 回転とし、次記要領で再点検を行う。

## BEFORE TAKE - OFF (CONT)

- ① Flight Controls ..... FREE  
操縦桿が全行程支障なく動くことを確認する。
  - ② Fuel Selector ..... BOTH  
燃料弁の位置が BOTH であることを確認する。
  - ③ Mixture ..... RICH  
ミクスチャーがフルリッチになっていることを確認する。
  - ④ Carbu heat ..... COLD  
キャブヒートがコールドになっていることを確認する。
  - ⑤ Primer ..... LOCKED  
プライマーがロックされていることを確認する。
  - ⑥ Flap ..... SET  
フラップを離陸位置にセットする。
  - ⑦ Trim ..... SET  
トリムが離陸位置にセットされていることを確認する。
  - ⑧ Flight Instrument ..... CHECK  
D/G, 高度計の確認をする。
  - ⑨ Cabin Doors ..... LOCKED  
ドア、窓が閉じられてロックされていることを確認する。
- .....
9. Engine Instrument ..... CHECK  
離陸位置にてスロットルを 1500 回転にセットし、エンジン計器を点検する。
  10. Transponder ..... ON  
トランスポンダーを "ALT" 位置にする。

## AFTER TAKE - OFF

(対地 200 FT でメモリーにて実施する。)

1. Flap ..... UP  
フラップ上っていることを確認する。
2. Power ..... SET  
上昇パワーにセットする。
3. Engine Instrument ..... CHECK  
油圧計、油温計がグリーン内にあることを確認する。

## CRUISE

(メモリーにて実施する。)

1. Power ..... SET  
設定した巡航パワーにセットする。
2. Mixture ..... SET  
ミクスチャーを調整する。
3. Engine Instrument ..... CHECK  
エンジン計器を点検する。
4. Fuel Quantity & Selector ..... CHECK & SET  
燃料計を確認後、最適の位置にセットする。(通常は "BOTH")
5. D/G ..... SET  
D/G とマグネチックコンパスのセットを行う。



## DESCENT

(メモリーにて実施する。)

1. Mixture …… SET  
ミクスチャーをリッチ側に調整する。
2. Carbu heat …… HOT  
キャブヒートをホットにする。
3. Power …… SET  
降下パワーにセットする。

## BEFORE LANDING

(メモリーにて実施する。)

1. Fuel Quantity & Selector …… CHECK & SET  
残燃料を確認し、燃料セレクターを最適位置にする。(通常は“BOTH”)
2. Mixture …… FULL RICH  
ミクスチャーを着陸に備えフルリッチにする。
3. Carbu heat …… COLD  
キャブヒートのコールド位置を確認する。
4. Seat Belt …… LOCK  
シートベルトをロックする。
5. D/G …… SET  
D/Gの点検を行う。

## AFTER LANDING

(メモリーにて実施する。)

1. Flap …… UP  
着陸後、行きあしが止まってからフラップを上げる。
2. Carbu heat …… COLD  
キャブヒートをコールドとする。
3. Transponder …… OFF  
トランスポンダーをオフとする。

## PARKING

(全項目メモリーにて実施後、チェックリストにて再確認する。)

1. Parking Brake …… SET  
パーキング・ブレーキをセットし、スロットルを1000回転にする。
2. Radio, VOR, DME, ADF …… OFF  
VHF ラジオ, VOR, DME, ADF をオフとする。
3. Avionics Power Switch …… OFF  
アビオニクス・パワー・スイッチをオフとする。
4. Light Switch …… OFF  
ビーコンライト以外のスイッチをオフとする。
5. Engine Instrument …… CHECK  
エンジン計器の点検を行う。
6. Mixture …… CUT OFF  
冷却運転を30秒間行った後、ミクスチャーをアイドルカットオフとしエンジンを停止する。
7. Throttle …… CLOSED  
プロペラ停止後、スロットルをアイドル位置とする。
8. Ignition Switch …… OFF  
イグニッション・スイッチをオフとする。
9. Beacon Light …… OFF  
ビーコンライトをオフとする。
10. Master Switch …… OFF  
CALL & SIGN “Master Switch OFF”
11. Trim …… OFF  
エレベーター・トリムを中立位置にする。

◎ 本田フライング スクール ロングナブ  
LONGNAVIGATION FLT

昨年度中は年間スケジュールにて計画をたて、皆様方にはいろいろお世話になりましてありがとうございました。

今年はその都度CLUBだよりにて紹介致しますので、ぜひ多数のご参加を心よりお待ちしております。この計画は、本田フライングスクール員の方ならどなたでも参加することが出来、参加者の中から4名1組でパーティを組んでいただきセスナ172を使用して実施いたします。

佐渡（1泊2日コース）

おけさの島、佐渡ヘデラックスホテルでの一泊、又味覚もこのシーズンはあわび、さざえ、真いか、エビ、カニ、アユなどのご賞味が出来るのではないかと思います。

特に尖閣湾名物のポンポン焼き（真いかの丸焼）は格別です。

〔出発日〕 7/12（土） 桶川～新潟～佐渡  
7/13（日） 佐渡～桶川

〔料  
金  
表〕

	フライト 時 間	フライト 料 金	1人当り	着陸料	宿泊地	宿泊料 金	現 地 交通費	指 導 員 (宿泊食事)	1人当り 総 合 計
C172	3+15	79,950	26,650	700	佐 渡	15,000	実 費	7,000	49,350

三宅島（日帰りコース）

大自然の青と緑がより深く、まさに最高のシーズン！マリンスポーツ、それとも味覚、海の幸もいいが見のがせないのが里芋とアジタバ料理。

海水浴には、マルチランド三宅島へ。

〔出発日〕 8/4(月) 8/5(火) 8/6(水) 8/7(木) 8/8(金)  
各出発 桶川～三宅島～桶川

〔料  
金  
表〕

	フライト 時 間	フライト 料 金	1人当り	着陸料	現 地 交通費	指 導 員 (食事代)	1人当り 総 合 計
セスナ 172	2+30	61,500	20,500	235	実 費	1,600	22,335

その他グループでのロングナブ その都度ご相談に応じますので多数のお申し込み、お問い合わせをお待ちしております。なお、お申し込み、お問い合わせは、本田航空フロント エアポートツーリスト係員までお願い致します。

〔クラブ スクール員の方にお得なニュース〕

富山空港にいらっしゃる場合、宿泊には最適の場所山田温泉、玄猿桜では、この度本田航空フライング クラブ スクールの方に特別料金にての御宿泊料を設定していただきました。空港より20～30分位、富山駅まで40分位の所にあり、温泉・スポーツ施設・味覚とゆっくりくつろぐには最高です。

又、下記料金には含みませんが別注にていろいろをかこんで山菜料理の鉄板焼も味あうことができます。

〔玄猿桜〕

特別料金	平日・休日	お一人様	6,000円	(1泊2食 税・サービス込)
	休 前 日	〃	9,000円	( 〃 )

パンフレットもご用意しております。その他宿泊、航空券、国鉄券などの個人旅行の手配、貸切バス利用の団体旅行、旅行に関する予約、問い合わせなどお気軽にご相談下さい。

☆お申し込み、お問い合わせ先は

本田航空一階カウンター

エアポートツーリスト(株)

TEL 0492-97-5461(代)

担当 成 瀬

## 「JOINT CORNER」

### TWIN HONDA

アメリカでは、自作の飛行機が盛んです。キットとして発売されている有名なものはアクロバットで名を売っているクリステンイーグルもそうですし、スポーツ機のファルコンP-51マスタングの2/3のスケール機も発売されています。私もカタログを持っていますが、大体エンジンを含んで50,000ドルぐらいです。ガレージの中なんかで、悠々と2年以上もかけて組み立てるわけです。うらやましいですね。どなたかスポンサーになって戴けないでしょうか。

自作の飛行機で飛ぶのはさぞかし素晴らしいでしょう。私がロスの2年ほどの滞在中、ホームベースとしていたヴァンナイズ空港のハンガーの中で、2/3にスケールダウンしたフォッカーE-1を製作している人がいて時々のおぞきに行ったものです。

ラジコン機をすこし大きくしたような感じのものでして、鋼管、羽布ばりの第一次世界大戦時代そのままのものでした。彼によるとエンジンは富士重工製のロビンという、スノーモビルに使われているものだそうで、西海岸の自製の機体はほとんどこのエンジンを使っているそうです。彼が、ホンダは航空機用のエンジンを製造していないのかと聞くのでまだ作っていないようだと言ったのを覚えています。最近、ポルシェが航空機用エンジンを開発中との記事を雑誌でみましたが、軽量で信頼性のたかい日本製のエンジンを期待しているように感じました。

エンジンだけでなく、『ウイチタもデトロイトと同じような目にあわないように注意しろ』という論説も雑誌に見られました。ウイチタは、セスナ等の軽飛行機メーカーの所在地でして、その筆者によりますと、今みたいに航空機メーカーが品質、価格の両面で努力を怠っていると、まもなくホンダやトヨタのピカピカした小型機が西海岸に陸揚げされることになるだろうとむすんでいます。

タイトルのようにツインホンダと書けば、当然オートバイの事だとお考えになるでしょう。しかしこの言葉はアメリカの権威ある航空雑誌(AOPA)に表れているのです。ツインホンダとは、何と三菱製のダイヤモンド1、あ

のジェットビジネス機の俗称として書かれています。と言うことはホンダは日本製の代名詞として扱われているわけですね。ちなみにもうひとつの俗称は勿論 ZEKÉ、戦時中の零戦のコードネームでした。

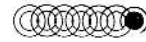
このような、第二次大戦の機体をこつこつと復元している人たちの話は、また次の機会に書きましょう。

No. 1 6 3 9

丹 羽 俊 彦



# 学 科 講 習



サ：サンシャイン（文化会館 7 F）……A. Cコース

桶：桶 川（2 F 教室）……………B. Dコース

7 月				8 月			
日付	科 目	コース	教室	日付	科 目	コース	教室
3 (木)	航空工学 3	A	サ	2 (土)	航空工学 3	B	桶
5 (土)	空中操作 2	B	桶	3 (日)	航 法 2	B	桶
6 (日)	航空通信 2	B	桶	6 (水)	航空工学 4	A	サ
8 (火)	航空気象 3	A	サ	8 (金)	航空気象 4	A	サ
11 (金)	航 法 4	A	サ	10 (日)	航空法規 2	B	桶
13 (日)	運航一般 1	B	桶	12 (火)	航空通信 4	A	サ
15 (火)	空中操作 3	A	サ	15 (金)	航 法 5	A	サ
20 (日)	計器飛行 1	B	桶	18 (月)	計器飛行 4	A	サ
21 (月)	運航一般 2	A	サ	19 (火)	運航一般 3	A	サ
26 (土)	航 法 1	B	桶	23 (土)	特殊無線 1	B	桶
27 (日)	航空気象 2	B	桶	24 (日)	計器飛行 2	B	桶
28 (月)	計器飛行 3	A	サ	26 (火)	航空法規 4	A	サ
				28 (木)	航 法 6	A	サ
				30 (土)	特殊無線 2	B	桶

## ＜ 学 科 講 習 内 容 ＞

ホンダ・フライング・スクール

自家用操縦士課程（40回120時間）

科 目	内 容	日付受講印
航空法規(1) (2) (3) (4)	航空法令の分類 定義 登録 航空機の安全性 航空従事者 航空路 飛行場 航空保安施設 航空機の運航(1) 航空機の運航(2) 罰則	
航空気象(1) (2) (3) (4)	大気 気温 気圧 安定 雲 霧 視程 風と台風 低気圧 高気圧 気団 前線と雷雨 天気図 着氷 航空気象通報式	
航空通信(1) (2) (3) (4)	通信組織 航空交通業務 航空交通管制業務 航空情報 AIP NOTAM AEIS 管制用語 局地交話法 RADIO TOWER との交信要領 機上電源	
航空工学(1) (2) (3) (4)	飛行機の構造 航空力学 航空計器 動力装置(1) 動力装置(2) プロペラ 飛行機の装備系統 重量重心 耐空性 飛行規程	
航 法(1) (2) (3) (4) (5) (6)	航法の概要 航空図 用語の定義 航法計器 航法計算盤の使い方 風力三角形 航法計画の作成 基本航法の計画と実施要領 航空保安施設の利用法（ADF VOR トラン スポンダー） 野外飛行の計画と実施要領 緊急時の手順	

科 目	内 容	日付受講印
計器飛行(1)	計器飛行の歴史 計器の見方 (G/HD/G 旋回計等) 基本計器飛行 (2) ADF (指示器の見方 LOP ホーミング イ ンターセプト アプローチ) (3) VOR (指示器の見方 ラジアル LOP インターセプト) (4) 計器飛行方式による飛行の方法 (IFR)	
空中操作(1)	地上点検 離陸 レベルオフ 旋回 上昇降 下 異常姿勢からの回復 スローフライト ストール 基本着陸 (2) 地上目標による720°旋回(パイロン) 緊急 操作(エンジン系統、機体等の故障、着水) 短距離離陸 ノーフラップ着陸 失速着陸 短距離着陸 (3) 180°スポット着陸 シャンデル レイジー 8	
運般一般(1)	飛行の準備 機長の出発前の確認事項 航空機の整備状況の確認 重量重心の確認 (2) 航空情報の確認 気象情報の確認 (3) 燃料滑油の確認 積載物の安全性 飛行計画 航空衛生 救急法 一般知識	
特殊無線(1)	電波法(1) 総則 無線局の免許 無線設備 無線従事者 (2) 電波法(2) 運用 監督 業務書類 通信術 (3) 無線工学(1) 予備知識 無線電話の基礎 (4) 無線工学(2) 無線電話の基礎 無線電話の設備 (5) 無線工学(3) 無線電話の設備 (6) 無線工学(4) 無線電話設備 ファクシミリ ATCトランスポンダー テレメ ータ 通信術	



~~~~~  
学 科 講 習 携 行 品  
~~~~~

航 空 法 規 — 航空法、A I M

航 空 気 象 — 航空気象入門、A I M

航 空 通 信 — コピー配布します

航 空 工 学 — 航空工学入門

航 法 (1)推測般法と作図の基礎

(2)推測航法と作図の基礎

航法計算盤

〃 の使い方

(3) (4)

航法計画書のつくり方

航法計算盤

プロッター

1/50 万区分航空図

航法計画書

(5)操縦訓練マニュアル

(6)航法計算盤

プロッター

区分航空図 8501

計 器 飛 行 — 操縦訓練マニュアル、A I M

空 中 操 作 — コピー配布，操縦訓練マニュアル

運 航 一 般 — コピー配布、A I M

特 殊 無 線 — 電波法規，無線工学